

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

**丸紅株式会社**（証券コード:8002）

## 【変更】

長期発行体格付	AA-	→	AA
格付の見通し	安定的		
債券格付	AA-	→	AA
債券格付（期限付劣後債）	A	→	A+
劣後ローン格付	A	→	A+
発行登録債予備格付	AA-	→	AA

## 【据置】

国内CP格付	J-1+
--------	------

## ■格付事由

- 農業資材事業（米国）、中古車販売金融事業（米国）などに強みを有する総合商社。農業資材事業では Helena 社が農薬・肥料・種子などを扱う販社として米国トップクラスの農業資材リテーラーに位置づけられる。中古車販売金融事業では Nowlake 社が全米シェア第3位、独立系ノンバンクでは第1位となっており、ITを活用した自動認証システムにより順調に成長している。様々な事業で強みを有しており、事業基盤は強固である。
- 22/3期に倍増した利益水準は、その後も維持されており、安定感が高まっている。非資源分野では、アグリ事業、金融・リース・不動産、電力、建機・産機・モビリティなどによって構成され、多くの事業で事業基盤の拡充が進んでいる。地域的には米国で優良事業を多く有しており、拡大する内需を着実に捕捉している。資源分野では、銅、鉄鉱石、原料炭などの権益を保有しており、市況変動の影響は受けるものの、近年、一定規模の利益を確保している。今後も非資源分野を中心に新規投資を継続するなど収益力の強化が徐々に進み、安定的に高水準の利益を確保するだろう。以上より格付を1ノッチ引き上げAAとし、見通しは安定的とした。
- 24/3期は、非資源分野、資源分野ともに減益とはなったものの、最終利益は4,714億円（前期比13.2%減）、実態純利益（最終利益から一過性要因を控除した概数）は4,670億円（同11.2%減）と引き続き高水準の利益を確保した。実態純利益の内訳は、非資源分野3,070億円、資源分野1,520億円となり、比較的安定した利益が期待できる非資源分野が多くを占めている。25/3期の最終利益は4,800億円、実態純利益は4,600億円とほぼ前期並みの計画である。資源分野では、市況下落で減益となるものの、非資源分野では、金融・リース・不動産、アグリ事業、フォレストプロダクツなどの好調により増益が見込まれている。
- 24/3期末のネットDERは0.55倍とほぼ前期並みの水準を維持した。25/3期は積極的な新規投資もあってネット有利子負債が増加、加えて保守的な為替前提（期末135円/ドル）によって株主資本が減少し、ネットDERは0.6~0.7倍程度を計画している。適時適切に資産内容の見直しを行っており、現状において多額の損失が発生するリスクは低いと判断している。

（担当）千種 裕之・本西 明久

## ■格付対象

発行体：丸紅株式会社

## 【変更】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	AA	安定的

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第76回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2010年3月16日	2025年3月14日	2.55%	AA
第82回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2010年12月24日	2025年12月24日	2.10%	AA
第85回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2011年7月15日	2029年7月13日	2.20%	AA
第102回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2014年7月25日	2024年7月25日	0.756%	AA
第103回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	130億円	2014年9月19日	2026年9月18日	1.034%	AA
第107回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2016年2月2日	2026年2月2日	0.725%	AA
第108回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2017年7月12日	2027年7月12日	0.380%	AA
第109回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2017年11月24日	2037年11月24日	0.880%	AA
第110回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2018年2月28日	2028年2月28日	0.370%	AA
第111回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2019年11月29日	2029年11月29日	0.280%	AA
第112回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	200億円	2020年6月17日	2025年6月17日	0.220%	AA
第113回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	150億円	2021年4月19日	2031年4月18日	0.360%	AA
第114回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	200億円	2023年2月24日	2028年2月24日	0.614%	AA
第115回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2023年7月13日	2033年7月13日	0.839%	AA
第116回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2023年9月26日	2028年9月26日	0.543%	AA
第117回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	180億円	2024年2月22日	2034年2月22日	1.025%	AA
第118回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	140億円	2024年4月25日	2034年4月25日	1.127%	AA

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第1回利払繰延条項・期限前償還条項付無担保社債（劣後特約付）	750億円	2021年3月4日	2081年3月4日	(注)	A+

(注) 2021年3月4日の翌日から2026年3月4日までの利払日においては年0.82%。2026年3月4日の翌日から2031年3月4日までの利払日においては基準金利に0.80%を加えた値。2031年3月4日の翌日から2046年3月4日までの利払日においては基準金利に1.05%を加えた値。2046年3月4日の翌日以降の利払日においては基準金利に1.80%を加えた値。

対象	借入額	実行日	弁済期日	利率	格付
コミット型劣後特約付タームローン	250億円	2021年8月16日	2081年8月16日	(注)	A+

(注) 実行日から10年後の応当日（同日を含まない）までの利息計算期間においては基準金利に当初スプレッドを加えた値。実行日から10年後の応当日から25年後の応当日（同日を含まない）までの利息計算期間においては、基準金利に当初スプレッドと0.25%を加えた値。実行日の25年後の応当日以降の利息計算期間においては基準金利に当初スプレッドと1.00%を加えた値

対象	発行予定額	発行予定期間	予備格付
発行登録債	2,000億円	2023年8月1日から2年間	AA

#### 【据置】

対象	発行限度額	格付
コマーシャルペーパー	7,000億円	J-1+

## 格付提供方針等に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2024年5月31日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：殿村 成信  
主任格付アナリスト：千種 裕之
3. 評価の前提・等級基準：  
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014年1月6日)として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：  
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2024年2月1日)、「総合商社」(2012年3月26日)、「ハイブリッド証券の格付について」(2012年9月10日)として掲載している。
5. 格付関係者：  
(発行体・債務者等) 丸紅株式会社
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：  
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。  
なお、本件劣後債、劣後ローンにつき、約定により許容される利息の支払停止が生じた場合、当該支払停止は「債務不履行」に当たらないが、JCRでは債務不履行の場合と同じ「D」記号を付与することとしている。  
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。  
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
  - ・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
  - ・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：  
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. 格付関係者による関与：  
本件信用格付の付与にかかる手続には格付関係者が関与した。
10. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

## ■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であると問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

予備格付：予備格付とは、格付対象の重要な発行条件が確定していない段階で予備的な評価として付与する格付です。発行条件が確定した場合には当該条件を確認し改めて格付を付与しますが、発行条件の内容等によっては、当該格付の水準は予備格付の水準と異なることがあります。

## ■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

## ■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL: 03-3544-7013 FAX: 03-3544-7026

株式会社 **日本格付研究所**

Japan Credit Rating Agency, Ltd.  
信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル